

## 「高学年くらいにおすすめです」(今井先生より)

『54字の物語』氏田雄介：作 PHP研究所

\*意味が分かると「ああ!!」と、思わず言っちゃうかも。

本文よりひとつ

「未開の星に高度なテクノロジーが伝来した。今までの馬車に代わり、本物そっくりの精巧な馬型のロボットが開発された。」



## 「休校中の“読書の記録～感想～”より」

本の福袋に入っていた本を読んで感想を書いてくれました

(1) 『昔話法廷』原作：坂口理子 NHKEテレ「昔話法廷」制作班 金の星社

\*昔話に出てくる話で裁判を行っていて、自分が裁判官ならどうするかを考えながら読んでみておもしろかった。(6年 倉林万優さん)



(2) 『たのしいムーミン一家』作：トーベ・ヤンソン 講談社

\*ニョロニョロたちは、しゃべることも聞くこともできない。目もよく見えないけれど、電気を吸収して放てるふしぎな生物でした。(6年 矢島 大和さん)



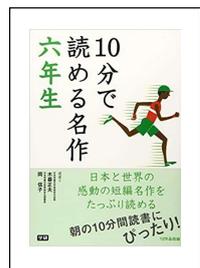
(3) 『めざせあしたの算数王』シリーズ 作：ゴムドリCO. 岩崎書店

\*算数の苦手な人でも読めば意外におもしろく感じます。特に、ぼくの好きなところは、④の魔法陣です。(6年 勅使河原 寛太さん)



(3) 『10分で読める名作 六年生』 作：木暮正夫 学研プラス

\*読んだこともない名作がたくさんありました。この本の中で一番印象に残った名作は、『ランナー』という詩です。理由は、スタートする時の気持ちがよく分かり「号砲」という言葉が心に残ったからです。(6年 外所加帆さん)



(4) 『ルリユールおじさん』作：いせひでこ 講談社

\*本の作り方などが書いてあった。おじさんがどれだけ本を大切にしているか、ソフィーがどんなに木の本が好きかなどの場面がよかった。(6年 長岡朱莉さん)



(4) 『フレデリック』作：レオ・レオニ 訳：谷川俊太郎 好学社

\*「ふしぎでまほうみたい」と思いました。1人だけちがうことをしてみんなとちがってもやくに立ったり、わかり合えたりすることができる。私も何か一つでも自信がもてるようになりたいです。(3年 黒澤美琴さん)

